



Try! up!

Vol. 48 [2022年10月20日発行]

令和4年度 第1回オープンキャンパス開催!

令和4年9月19日に、今年度第1回目のオープンキャンパスを開催しました。新カリキュラム申請中ということもあり、例年より1か月遅い開催。昨年は開催前日に新型コロナの緊急事態宣言が出され、急遽オンラインに変更する事態となりましたが、今年度は予定通り対面で実施することができホッとしています。

当日は三連休の最終日でしたが、既に出願された方、出願に向けて準備中の方、進学を迷っている方など18名が参加。宮城県外からも多数ご参加いただき、「学校の概要(学習の流れ)」や「出願方法」「放送大学」「臨地実習」などの説明に加え「模擬授業」も体験いただきました。

「模擬授業」は、昨年度に引き続き、母性看護学担当の蓼原先生による『いのちの授業』。「卵巣の大きさは?」「卵子の大きさは?」「精子の大きさは?」などクイズ形式の質問に答えながら妊娠のしくみを復習し、動画により受精から着床に至るプロセスを学んでもらいました。短時間の授業でしたが、改めて生まれることの奇跡、いのちの大切さを感じていただけたのではないのでしょうか。続きは、ぜひ入学して学んでくださいね。

個別相談では、進学にあたり心配なことや不安なことをお伺いしながら、入学後の学習スケジュール、自宅での学習の進め方、放送大学との併用などについて具体的にお話させていただきました。今回のオープンキャンパスを通して、本校での学習のイメージをもていただけたのではないかと思います。進学に向けた第一歩になることを願っています。

本校では、9月1日から令和5年度入学願書受付を開始しました。今後も各地で学校説明会を開催予定です。同僚やご友人などで進学を考えている方がいらっしゃったら、ぜひお声がけくださるようよろしくお願いします。



実習後面接授業スタート!



思えば、今年こそ新型コロナウイルス感染症の終息を期待して迎えた新年度でしたが、蓋を開けてみればオミクロン株の蔓延により前年度以上の爆発的な感染力によって第7波が到来してしまいました。本校でも多くの実習施設や学生の就業先などにまで影響が及ぶこととなりましたが、どんな状況でもできるだけ多くの学びの機会を提供できるよう、対面授業以外にインターネットを活用した授業などにも積極的に取り組んでおります。これまでも遠隔地在住の学生を対象とした出張面接授業を東京や盛岡市で行ってきましたが、今年度からは青森在住の学生が増えたこともあり、青森市のアスパムが会場として加わりました。

9月末からは2年生、10月には1年生の病院等見学実習後面接授業が実施されています。それぞれが見学実習あるいは代替実習を通して得た学びをグループワークや講義を受けることにより、看護実践における看護師の思考プロセスについて深く考えることができたようです。

また、盛岡会場で行われた成人看護学の実習後面接授業では、これまで学校での対面授業に來られなかった学生らが、久しぶりに同級生と近況報告をしたり、国試学習の情報交換をするなどしてとても有意義に過ごすことができたと話していました。

2年生の面接授業は11月半ばの統合の演習ですべて終了となります。その後は最大の目標である看護師国家試験合格に向けて本格的な学習がスタートします。これまでに各領域で取り組んできた紙上事例演習、見学実習、面接授業で得た知識や論理的に考える思考方法などは必ず国試でも活かされるはずです。次第に寒くなりますが、体調管理に気を付けて、最後まで突っ走りましょう!



菅原 朋子 先生
基礎看護学担当

基礎看護学担当の菅原です。

今考えると自分でも凄かったなあと思うことがあります。それは、一人でニュージーランドに1年間住んだことです。

若かりし日の私は、とある病院の救急外来で、日夜救急搬送されてくる患者さんの対応に追われていました。そんな時、自分と同じような年齢の若者が亡くなっていく場面に何度か立ち会ううちに、「自分もいつ同じ状況になってもおかしくない、若いうちに好きなことをやらなくては!」と急に思い立ち、病院を辞めて旅立ったのです。

現地では1か月間ホームステイをしながら語学学校に通い、その後はフラットという共同アパートを自分で探して引っ越しました。仕事も新聞などで探して食事付きのタイレストランやモーターホテル(車で旅行している人が泊まるホテル)で働きました。

この時の怖いもの知らずの行動力は今はもうありません。



蓼原 綾 先生
母性看護学担当

母性看護学を担当している蓼原です。

私には、お産の神様がついていらっしゃるらしく、助産師として働いた10年間で多くのベビーを取り上げてきました。

そんな私の自慢は、愛犬の出産を2回手伝ったことです。1回目は安産だったのですが、2回目は高齢出産であり、21時まで産まれなかったら帝王切開と言われていました。

もはや21時というところで獣医師に電話すると、「内診してください!」の指示。私はキッチン用手袋をはめ、オイルをつけて内診。すぐそこに胎胞があるのを確認した私は、自然にぐりぐり(分娩が進まないときに子宮口を刺激すること)をしたのです。

そして無事に5匹の元気な子犬が産まれました。



学生通信



『患者さんやご家族に 寄り添える看護師に』

2年生 石井 亜以さん
(宮城県・40代・病院勤務)

もともと持病があり、医療や福祉の現場を身近に感じていた私は、将来は看護か介護の仕事に就きたいと考えていました。

現在は准看護師になって14年ほど。職場には本校の卒業生もおり、看護師長もずっと進学を勧めてくれたのですが、体調に不安があり、なかなか一歩を踏み出すことができませんでした。しかし、コロナ禍となり、患者さんの受け入れや対応など、職場の環境が大きく変わったことで「このままではいけない」と感じるようになり進学を決意しました。

入学してしばらくはオンライン中心の学びとなりましたが、現在は対面の授業が増えてうれしいですね。直接話が聞けるので学ぶことが楽しく、できるだけ対面で授業に出席するようにしています。学校で同じ目標を持つ仲間と直接学びあう時間は、私にとって大切な時間です。心が折れそうな時にも仲間のことを思い出して「大変なのは自分一人じゃない」と頑張れる力にもなっています。

また、学び始めた今振り返ると、これまでは業務をこなすのに精一杯で、目の前にいる患者さんがどのような状況なのかまで考えられていなかったと感じます。今では学校で学んだことが業務と繋がり、『根拠』に基づいて考えられることも増えてきたように思います。

現在は療養病棟に勤務していますが、患者さんご本人だけではなく、ご家族との関わりも大切だと感じています。まずは看護師国家試験合格を目標に。そしてこの学びを活かし、患者さんご家族の気持ちに寄り添いながらサポートできる看護師になりたいと考えています。

卒業生からの手紙



letter from alumni

Letter 1



工藤修平さん

青森県・40代・
訪問看護ステーション勤務
2015年入学

本校卒業後、訪問看護ステーションの管理者として忙しい毎日を送っています。現場に出向いての看護業務に加え、スタッフの勤務シフトの調整やレセプト業務など、管理者としての仕事は多岐にわたります。

在校中は決して優秀な学生ではなかったと思いますが(笑)、今こうして自信をもって仕事をしている自分があるのは、「学校」という学ぶ場所があったからこそ。看護の知識や根拠の大切さを教えてくださった先生方や支えてくれた仲間たちには本当に感謝しています。一緒に卒業した仲間たちとは今でも連絡を取り合い、仕事の話だけではなく、プライベートのことなども報告し合っています。そんな気の置けない一生付き合っていきたいと思える仲間ができたのも学校に行ったからこそ得られたものだと思います。

課題提出に追われる日々で心が折れそうになっている在校生も多いと思いますが、その積み重ねが土台となり、将来の自分を作ります。看護師を目指す決意したときの気持ちを忘れず、最後まで粘り強く国家試験合格を勝ち取ってください。応援しています！



学校に在学中は病院勤務でしたが、今年の春から病院に併設された法人内の介護老人保健施設に主任として移動。現在は、施設内の業務改善や人材育成を任せ、試行錯誤しながら少しずつ目標の実現に向けて進んでいるところです。実は入職した際には施設で働いていました。少し経って病院に移動になり、今回戻ってきたという形なので少し複雑なのですが(笑)。病院から移動したことで、感染症対策など病院での経験を施設に持ち込めたのはよかったと感じています。

現在は人を指導する立場にありますが、根拠を持って伝えたり、患者さんや利用者さんの病状の判断を自信を持ってできているのは、2年間の学びのおかげだと感じています。学校で出会った先生や仲間とは現在も連絡を取り合っていて、この繋がりが「学校に行けて良かった」と一番感じるところです。さまざまな現場の情報が入ってくるのでいい刺激になっています。



在学中の皆さんは今辛い時期だと思いますが、同じ目標を持った仲間とともに『一番新しいことを』学べる時間は貴重です。その時間を大切に、卒業後に活かせるよう頑張ってください。

Letter 2



三浦 直美さん

青森県・40代
施設勤務
2015年入学

Letter 3



小笠原さざりさん

青森県・40代
クリニック勤務
2016年入学

介護事業全般を展開している法人の中で、現在は医療系サービス(クリニック・訪問看護)の管理職として働いています。コロナ感染が拡大してからは、日々の外来対応だけではなく、ワクチン接種の受け入れ計画や実施、施設利用者の感染状況の把握や保健所とのやりとり、法人全体のスタッフの人員調整など、いくつもの業務が重なり、精神的にも追い込まれるような毎が続いています。

そのような中でも「今できることを整理して一つずつやっつけていこう」と気持ちを強くもって仕事に向き合っているのは、あのレポート提出に追われた学生生活の経験が活きているのかもしれませんが。仕事と家庭と勉強を両立するために、時間の使い方を工夫し、いつまでに何をするという計画を立てて一つずつクリアしてきました。

また、苦労して書いたレポートは看護師となった今でも振り返って見ることがあります。自分で調べ、何度も考え直して仕上げる過程は、絶対に無駄にはなりません。看護師という目標に向かって、まずは目の前の課題を一つひとつ達成していくことが何より大事だと思います。



● VISUALEARN(ビジュアル)クラウド視聴方法について

本校では、学生の基礎学力強化のために、学術映像配信システム「VISUALEARN(ビジュアル)クラウド」を導入しています。

パソコンはもちろん、スマートフォンやタブレットでも学習が可能です。空いた時間などを利用して、どこでも手軽に学習することができますので、ぜひ活用しましょう。

＜視聴環境について＞

ご利用のパソコンやスマホ・タブレットの種類やバージョンにより、画面が表示されない場合もあります。正常に視聴できない方は、本校までご連絡ください。

STEP 1

本校ホームページ『オンライン学習室』ページ内の＜ビジュアルクラウド＞を表示します。

オンライン学習室はこちら



STEP 2

ご自身の視聴環境に合わせ、【パソコン用】と【スマホ・タブレット用】のURLの **どちらかをクリック**。

＜ビジュアルクラウド＞

令和4年度のビジュアルクラウドが利用可能になりました。

皆さまの学習にお役立てください。

⇒詳しい視聴方法はここから (PDFが開きます)

※視聴後は必ず「ログアウト」操作をしてください。

「ログアウト」をせずに誤って画面を閉じようと、約10分間、再ログインができません。また、他の学生が視聴できず迷惑となる可能性があります。

【パソコン用】 <https://tfu-ac.visualearn.jp/p/>

【スマホ・タブレット用】 <https://tfu-ac.visualearn.jp/l/>

STEP 3

ユーザーIDとパスワードの両方に学籍番号を入力し、**ログイン** ボタンを押す。

USER ID (ユーザーID)

学籍番号を入力

PASSWORD (パスワード)

学籍番号を入力

ログイン

※学籍番号のアルファベットは半角大文字で入力してください。

STEP 4

表示されたINDEX画面から、**INDEXをクリック**し、動画を視聴する。



※動画を視聴したら、INDEX画面に戻り、次の動画を視聴します。

STEP 5

学習終了後は、画面右上の **ログアウトをクリック**してから画面を閉じる。



注意 学習を終えたら、必ず『ログアウト』してください。

『ログアウト』をクリックせずに画面を閉じると…、

- 閉じた後、約10分間は再ログインできません
- 他の学生が視聴できなくなる場合があります

※同時に視聴できるのは50名までです。

ログインした際画面に《同時ログイン可能数をオーバーしています》と表示された場合には、しばらく時間をおいてから再度試してください。

● 第112回 看護師国家試験の日程が決まりました

試験期日

令和5年
2月12日(日)

合格発表

令和5年
3月24日(金)
午後2時

※手続き等については、別途学校からお知らせします。

● 出願希望者の紹介制度について

9月1日(木)から、次年度入学生の「入学願書」受付が始まりました。

本校の卒業生又は在校生の紹介により入学された方には、特典(テキスト代の一部減免)があります。同僚やご友人で出願を希望される方がいたらぜひご紹介ください。

出願書類に「紹介シート」の同封が必要なため、卒業生・在校生の皆さまは「紹介シート」に必要な事項を記入の上、早めに出願者にお渡しください。

なお、在校生の皆さまには9月末に「紹介シート」を送付しています。

